

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立登美丘中学校  
校長 山口 和宏

## 中学校区におけるめざす子ども像

失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子 ～自分からチャレンジ！そして未来を切り拓く～

## 令和7年度 重点目標

すすんで学習に励み、すべての面で調和のとれた人間の形成をめざす

- 個性を伸ばし、創造性を豊かにする。
- すこやかな心身を育て、ねばり強さを養う。
- 平和と正義を愛し、人権と生命を大切にす。
- 勤労の喜びを知り、社会人として生きる力を身につける。

## 「確かな学び」の現状

基本的な学習習慣や基礎的な学力を身につけている子どもは、比較的多い傾向にある。また、「主体的」な学習に対する姿勢に対しては、まだ伸ばすことができるのではないかと期待感を持っている。「疑問を持つ」「調べる」「発見する・知る」ことを体験することから、子どもの「主体的」な学習がより積極的に展開され、自尊心の高揚にもつなげていきたいと考えている。令和6年度に実施した堺市児童生徒・学習生活状況調査の結果から、「普段から「なぜだろう」「調べてみたいな」と思うことがありますか」の肯定的回答は61.7%であった。

## 「豊かな心・健やかな体」の現状

令和6年度に実施した堺市児童生徒・学習生活状況調査の結果では、「近所の人に合ったときはあいさつをしていますか」の肯定的回答が87.5%、「将来の夢や目標をもっていますか」の肯定的回答が69.1%、「保健体育の時間は好きですか」の肯定的回答が71.4%であった。「豊かな心・健やかな体」の観点では、比較的高い数値であることがみられた。一方で「将来の夢や目標」を持った子どもがもっと増えてほしいと考えている。「将来の夢や目標」に至る過程で、いろいろなことを体験し、いろいろな人に出会い、いろいろな刺激を受け、「心」が育ってほしいと願っている。

| 大項目        | 中項目      | 具体目標   | 具体的な取組<br>(●重点とする取組、★中学校区での取組)   | 判断基準<br>(評価のものさし)                            | 評価方法                             | 評価時期 | 進捗確認<br>(～10月) | 達成状況(年度末)   |         |   |   |  |
|------------|----------|--|--|--|----------------------------------|------|----------------|---|---------|---|---|--|
|            |          |  |  |  |                                  |      |                | 自己評価  | 学校関係者評価 |   |   |  |
| 確かな学び      | 学力向上     | ○子どもが自己調整しながら学習を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざす。<br>○静謐な学習環境の確立と学びに向かう力を高める。                      | ★堺市児童生徒・学習生活状況調査や学校アンケート等の結果を分析し、授業改善につなげる。<br>●基礎的な知識・技能の確実な定着のため、子どもが家庭学習に取り組むように指導する。   | 各種調査での肯定的評価回答<br>各教科でのふりかえり                  | 各種調査・アンケート<br>各教科での自己評価          | 年度末  | △              | 堺市生徒・学習生活状況調査は実施済だが、学校アンケートは1月に実施予定である。子どもが自己調整しながら学習活動を実施できるように指導を行っている。         | △       | 「先生は、授業等で理解していないところを、わかるまで教えてくれましたか。」の生徒肯定的回答は、90%前後であった一方、「授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がやったことを自覚した。」の生徒肯定的回答が60%強であった。授業のはじめに見とおしをもたせ、最後に振り返り、学習の確認を指導者側が行う必要性を改めて再認識した結果がでた。「授業はわかるか。」の生徒肯定的が約85%、一方で保護者肯定的回答は約56%であった。少し差が開いた結果となった。 | △ | ・授業内容を授業中の時間にすべてを理解することは、なかなか難しいと思う。<br>・自ら学ぶことは小学校でも取り組んでいるが、なかなか課題を感じる目標ではないかと思えます。  |
|            | 授業改善     | ○子どもは生まれながらにして有能な学びてであるという「子ども感」を大事にした授業を行う。<br>○子どもが主体的に学ぶ姿を捉え、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を図る。   | ●★子どもが自ら学びを進め、他者との協働的な学びを展開していく。<br>●★ICTを効果的に活用する等、子どもの自尊心が醸成する授業を展開していく。<br>子どもの現状を分析し指導改善に活用する。                                       | 各種調査での肯定的評価回答<br>子どもの学びへの充実度と達成度             | 各種調査・アンケート<br>子どもの学習成果           | 学期末  | △              | 子どもが自ら学びを進め、他者と協働的に学びを深める授業を展開するため、授業改善研修を実施した。年度末になるが、アンケート結果から傾向を分析していく。        | △       | ・生徒と保護者の回答に差があるとのことですが、アンケート結果だけでなく、個々に学習の確認もしていただければと思います。<br>・ある生徒がある教科で90点取ることができたことと喜んでる姿を先日見ました。授業を理解できたのだと感じました。引き続き、内容の振り返りに力を入れてください。   | △ | ・生徒と保護者の回答に差があるとのことですが、アンケート結果だけでなく、個々に学習の確認もしていただければと思います。<br>・ある生徒がある教科で90点取ることができたことと喜んでる姿を先日見ました。授業を理解できたのだと感じました。引き続き、内容の振り返りに力を入れてください。                                |
| 豊かな心・健やかな体 | 心の教育の充実  | ○人権尊重の精神に立ち、望ましい人間関係を形成し、自他の尊重や実践力を養う。<br>○人権に関する知的理解と人権感覚の育成する。<br>○子どもの自尊感情の高揚と個性の伸長をめざす。    | ●★人権尊重の精神に立ち、子どもの望ましい人間関係の形成と自尊尊重を養う道徳教育の実践。<br>授業・学校行事・生徒会・部活動等を通じて最後までやり切るという達成感を獲得し、自尊感情を高揚させる。<br>●いじめを絶対に許さない仲間づくり、ちがいを認め合う教育の推進する。 | 各種調査での肯定的評価回答<br>道徳公開授業                      | 各種調査・アンケート                       | 学期末  | △              | 一人ひとりの人権を尊重し、子どもたちの望ましい人間関係の形成のため、引き続き子どもたちを観察し支援していく。年度末になるが、アンケート結果から傾向を分析していく。 | △       | 「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」の生徒肯定的回答は、ともに約76%であった。これらは90%を超えてほしいと願っている。子どもたちの自己肯定感や自尊感情が高揚が心の安定、また学習への自己調整力につながると考えている。   | △ | ・これだけSNSが流行っている時代に、心の教育というのは、非常に難しいですね。<br>・生徒指導に対して、先生方が丁寧に対応してくださっています。<br>・子ども自身の自己解決力に、最近課題を感じます。また、多様な課題解決を先生方に頼りすぎてはしないかと感じています。<br>・「将来の夢や希望をもつ」子どもが多く在籍する中学校にしてください。 |
|            | 健やかな体の育成 | ○運動に親しむことのできる環境を整え、体力を向上させる。<br>○主体的で望ましい食生活を実現しようとする態度を育成する。<br>○命を守り、安全で安心した活動を可能とする環境を整備する。 | ●部活動を含む体育活動の活性化や運動に親しむ機会を充実させることから、運動する習慣を育む。<br>●★栄養教諭をリーダーとして、中学校区での食育に積極的に取り組む。また、地域や家庭と連携して子どもの望ましい食生活を実現しようとする態度を育てる。               | 各種調査での肯定的評価回答<br>新体力テスト結果<br>体育活動に取り組む子どもの姿勢 | 各種調査・アンケート<br>新体力テスト<br>子どもの学習成果 | 年度末  | ○              | 6月から実施している中学校給食は大きな混乱がなく、10月を終えた。栄養教諭を中心に食育に積極的に取り組み、概ね計画通りに進んでいる。                | ○       | 中学校給食全員喫食性が6月から始まったが、食育の先進的取組として、食育アプリを活用し家庭科授業で取組んだ。またその授業は全市立学校に公開をした。年度末には、全市中学校でこのアプリを活用した教育活動がすすんでいる。  | ○ | ・食育というものが、中学生にどのような影響を与えているのか、今後注目したいです。<br>・昨年6月に始まった中学校給食と食育との関係について、より深まっていくことを期待しています。<br>・食育の継続をお願いします。   |
|            | 地域協働     | ○学校情報を積極的に発信し、地域とともに歩む学校づくりを進める。<br>○家庭・地域から信頼される中学校をめざす。                                      | ●学校ホームページ等を通して、積極的に情報を発信していく。<br>地域とともに歩む学校づくりをめざす。  | 各種調査での肯定的評価回答<br>学校ホームページ閲覧数<br>保護者・地域の声     | 各種調査・アンケート<br>学校ホームページ           | 年度末  | △              | ホームページや学校と家庭の連絡配信ツール、学年通信等を活用し、今後も情報を発信していく。                                      | △       | ホームページや学校と家庭の連絡配信ツール、学年通信等を活用し、今後も情報を発信していく。  | △ | ・保護者はホームページ等をよく閲覧していると思えますので、今後も積極的な発信をお願いします。   |

## 校長より(年度末)

「令和7年度登美丘中学校保護者アンケート」への温かいご協力、本当にありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見を、教職員一同で共有いたしました。今回の結果で特徴的だったのは、生徒たちの「学校が楽しい(約93%)」という実感と、ご家庭から見た「楽しみに登校している(約74%)」という印象に差がある点です。学校では元気に過ごしていても、お家ではふと不安を見せたり、疲れを感じたりしているのかもしれない。私たちは、子どもたちが学校で見せる表情だけでなく、ご家庭での様子もしっかりと伺いながら、どこにいても「学校は安心できる場所だ」と胸を張って言えるような学校づくりをめざします。子どもたちが「困った」を自分から言える環境を整え、その一歩を丁寧に応援していきます。自分で考え、行動する力を育てるよう、支援の形を常にアップデートし、地域全体で子どもたちを見守る信頼の輪を広げていきたいと考えています。

## 学校関係者評価者から(年度末)

・学校は本当によく頑張ってくれています。  
・学校の先生の数を、もっと増やしてあげてほしいと思います。  
・子どもたちは、教室で一息懸命に学習に取り組んでいました。落ち着いている印象です。  
・先生方いつもありがとうございます。これからも子どもたちが笑顔で、楽しく生活ができる学校を築いてください。